

臨床研究に関する情報公開(研究要旨)

太田西ノ内病院では、下記の研究を実施しております。

番号	6
研究課題名	Masqueraders around the Disasters: Clinical Features of Scrub Typhus in Fukushima, Japan
研究責任者 (試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称)	地域医療修練センター 感染症内科部長 成田雅
共同研究者 (利用する者の範囲)	太田西ノ内病院 地域医療修練センター長 内科部長 新保卓郎・副院長 井上実
研究目的 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	本研究は多様なつつが虫病の臨床像を明らかにし、早期診断と治療に資する提言を行うことを目的とします。
他の研究機関(共同研究機関含む)への情報提供の有無、及び提供先の研究機関名・その提供方法	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 [有に <input checked="" type="checkbox"/> した場合、提供先の研究機関名 及び その提供方法]
研究実施期間	～
研究対象者及び対象期間	太田西ノ内病院ならびに太田熱海病院にて診断されたつつが虫病55例 2008年1月1日から2017年12月31日まで
利用する情報 (利用し、または提供する試料・情報の項目)	①採血ならびに痂皮からの遺伝子検査 病院受診時あるいは入院時に得られた採血(全血)、痂皮から病原体(Orientia tsutsugamushi)の遺伝子情報を精査します。また採血にて得られた血清を専門機関に送付して血清型を調べます。②罹患された方の患者情報(バイタルサイン、基礎疾患、病歴、身体所見など)を収集し解析します
研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
備考	